

授業科目	人間とアート	1～2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	(山田 良) (一) e-mail : —	非常勤講師 連絡担当教員	高橋義信 (教育研究棟 IC809 号) e-mail : yoshi@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	医療は「サイエンス」と「アート」の2つの側面が存在すると言われており、自然科学的な知識や技術のみでより良い医療は成り立たない。本科目では、人間にとって「アート」とは何か、なぜ必要なのか、感性とは何かを理解し、言語に頼らず感じ取る力を養う。		
到達目標	1. アートが人間にとって必要な理由を説明できる。 2. 言語以外の表現として、アートに何ができるかを説明できる。 3. アートによる様々な応用について説明できる。		
関連科目	なし		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	プレゼンテーション	40%	プレゼンテーション：8 回目にプレゼンテーションを実施する。発表内容について 40%で評価する。
	レポート	40%	
	授業参加態度	20%	レポート：8 回目および随時レポートを課す。レポート内容について全体を 40%で評価する。
			授業参加態度：グループワークおよび授業期間全体の参加状況(積極性)について 20%で評価する
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス/アートについて① アートと芸術、環境芸術など	事前：アートとは何かをイメージする。 事後：授業で紹介された中で、興味を持った作品を掘り下げる。	講義	(山田)
2	アートについて② 公共空間でのアートプロジェクトなど	事前：生活のなかで目にしたアートを記録する。 事後：授業で紹介された中で、興味を持った作品を掘り下げる。	〃	〃
3	アートについて③ アート作品の制作手法、コンセプト、ディテールなど	事前：制作者の視点から、2 回目で記録した作品の制作過程を想像する。 事後：授業で紹介された中で、興味を持った作品を掘り下げる。	〃	〃
4	課題発表とグループワーク	事前：これまでの授業で紹介された作品などを整理する。 事後：グループワークの内容を振り返る。	グループワーク	〃
5	ホスピタルアートについて 空間とアート、建築とアートの連関など	事前：病院内のアート作品についてイメージする。 事後：授業で紹介された中で、興味を持った作品を掘り下げる。	講義	〃

6	アートと社会について	<p>事前：これまでの授業で紹介された作品などを通して、アートの役割について考える。</p> <p>事後：授業で紹介された中で、興味を持った作品を掘り下げる。</p>	講義とグループワーク	〃
7	グループワーク プレゼンテーションの準備	<p>事前：これまでの授業で紹介された作品などを整理し、ディスカッションの用意をする。</p> <p>事後：授業を通して最終課題を進める。</p>	グループワーク	〃
8	課題プレゼンテーション	<p>事前：プレゼンテーションの準備をする。</p> <p>事後：授業を踏まえてレポートを完成する。</p>	〃	〃